

広島の高校生が描いた 「原爆の絵」展

核兵器は二度と
使われてはなりません
この非人間性を目をそらさず
見つめてください



基町高等学校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」

被爆体験証言者の記憶に残る光景を、広島市立基町高等学校生徒と被爆体験証言者が共同で「原爆の絵」を制作しています。現在までに116点の作品が完成しています。

(広島平和記念資料館ホームページより)



「原爆の絵」展は、言葉では言い尽くせない被爆の悲惨さ、残酷さ、非人間性を感じ取った高校生が描いたものです。核兵器は二度と使われてはなりません。「原爆の絵」をご覧になり、被爆者が訴える「ヒバクシャ国際署名」を広げる力になればと、この展示会を企画しました。どうぞご来場下さい。



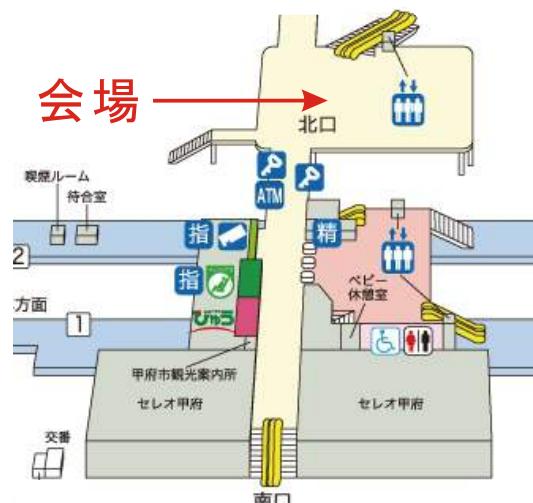
被爆者救援連帯募金にご協力下さい

全国で被爆者援護連帯募金旬間（11/20-12/10）が取り組まれています。会場にも募金箱を置いています。ご協力をお願いします。

12月10日(月)～14日(金)

展示時間は午前9時～午後7時

甲府駅北口ペデストリアンデッキ



主催：原水爆禁止山梨県協議会

〒400-0025 山梨県甲府市朝日5丁目7-2 平和と労働会館内 電話080-5419-2696